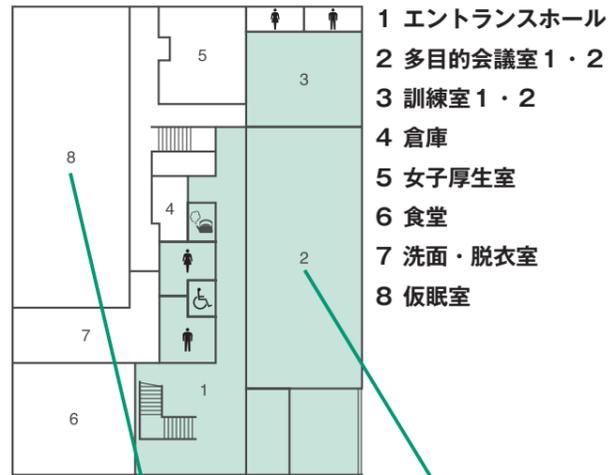


1F



- 1 エントランスホール
- 2 多目的会議室 1・2
- 3 訓練室 1・2
- 4 倉庫
- 5 女子厚生室
- 6 食堂
- 7 洗面・脱衣室
- 8 仮眠室

2F



- 1 消防長室
- 2 消防団長室
- 3 消防団本部室
- 4 総務課
- 5 予防課
- 6 警防課
- 7 更衣室
- 8 指令事務室
- 9 通信指令室
- 10 通信機械室
- 11 台帳管理室
- 12 書庫
- 13 倉庫



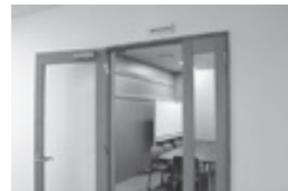
夜間は交替で仮眠を取りながら万一の事態に備えています。



各種会議のほか、毎月一回の普通救命講習会などが行われます。



24時間365日、119番を受信しています。



5分団285名が所属している茨城町消防団の本部です。

〒311-3131
東茨城郡茨城町小堤1736-5
☎029-292-1515



停電時、最大72時間消防庁舎に電力を供給し、防災拠点機能を維持します。

まちの安全・安心を守ります 茨城町消防庁舎完成



新庁舎は耐震性庁舎棟と車庫棟からなり、太陽光発電、自家発電施設、災害時の生活用水確保のための井戸が設置されています。

近年、火災や大規模自然災害への対応、さらに高齢社会の進展と生活習慣病の増加などに起因する救急出場が多発する傾向にあります。このような状況に対応するため、茨城町では東日本大震災で被災した消防庁舎の整備を急ピッチで進め、この度消防防災の拠点施設となる新消防庁舎が完成し、供用が開始されました。

その後、庁舎の耐震・耐力度調査を実施した結果、数値的な値により建て替えが必要との判定を受けました。この判定を受け、町では消防庁舎建設検討委員会を立ち上げ、建設整備事業に着手。平成23年度消防防災施設災害復旧費補助の交付を受け、約1年7ヶ月という短期間で設計・建設工事を行い、この度茨城町消防庁舎が完成しました。



破損した望楼の柱

庁舎建設の経緯
旧消防庁舎は昭和48年に建設され、築37年7か月が経過していました。平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、庁舎の多くの箇所が損壊したため、応急危険度判定調査を実施し、赤の判定（危険）となりました。更に、余震により望楼倒壊の危険性が高いため、消防本部・署機能をゆうゆう館に移転しました。

建物概要

- (全体) 敷地面積 2,786.96㎡
- (全体) 建築面積 1,472.12㎡
- (全体) 延床面積 2,280.88㎡

建物名称	庁舎棟	車庫棟	訓練棟
構造	RC造 一部S造	S造	S造
階数	地上2階	地上2階	地上2階
延床面積	14140.73㎡	822.15㎡	48.00㎡
基礎	杭基礎	杭基礎	杭基礎

※ RC造…鉄筋コンクリート構造
S造…鉄骨構造



消防車や救急車がいつでも出動できるよう準備されています。



様々な状況に対応するため、日々訓練が行われています。